



かわさき

令和3年度川崎小
学校だより
第7号
6月4日発行
文責 校長

租税教室

5月31日（月）6年生が社会科で「税金」の学習を行いました。

講師に小沢在住の税理士、遠藤様をお迎えし、税金のしくみや使われ方についてDVDの映像を見ながら具体的に教えていただきました。税金のない世界では、道路



が壊れたままになり、火事を消すのも有料になり、ごみの収集がされずに街中がごみであふれてしまうという映像を見て、子どもたちは驚いていました。橋や道路や学校が税金で作られていることも知りました。その日、家庭でも税金について学んだ事を家族に楽しそうに話したお子さんもいたそうです。

三ツ石神社見学



6月2日、2年は生活科、3年は社会科の学習で、2学年一緒に三ツ石稲荷神社を見学しました。当日は、毎年、地域のことを教えていただいている安齋克仁様と神社を管理されている安齋好美様においでいただき、特別に神社の中も見せていただきました。

今から約680年ほど前に上川崎の赤坂に やかた 館を構 あんざいたろうざえものじょうしんぎよう えた安西太郎左衛門尉真行が神社を建立しました。言い伝えによると、真行が、領地内に稲荷神社を建てる場所を探していたとき、夢に老人が現れ、「私を祭る場所には必ず良い“しるし”があるだろう。」と告げたそうです。真行が自分の領地の中で“しるし”を探していると、三つ並んだ石の上に白い狐が座っていて、真行に向かって3回鳴いた後、姿が見えなくなりました。真行はこの場所こそ稲荷神社を建てるのにふさわしいと思い、神社を建てたそうです。



神社の中には二本松市指定有形文化財の「白狐の大額」が奉納されており、子どもたちも興味津々で説明を聞いていました。